

B 79 コインランドリーにおけるすすぎ効果  
文教大教育 西出伸子 ○関口典子

目的 洗濯のすすぎは洗剤洗いの汚れた洗液や、布に付着した洗剤を除去するために必要である。コインランドリーには、国産および輸入全自動洗濯機がある。輸入機のすすぎ回数は少なく、シャワーリンスを行っているものもある。そこで、すすぎ効果の実態を明らかにするために実験を行った。

方法 大学付近の4店のコインランドリーの国産機、輸入機合計7台と家庭用二槽式洗濯機について、試験布は綿メリヤス布、洗剤はJIS K 3371の指標洗剤を濃度0.133%で用い浴比1:30又は1:20の場合について、洗浄とすすぎ終了時の界面活性剤の残留量を試験布と溶液についてフェロイン試薬を用いる方法を定量した。

結果 すすぎ終了時の布の界面活性剤残留量は、①浴比1:30の場合、家庭用二槽式洗濯機ためすすぎ2回く国産機く輸入機の順であった。②国産機、輸入機とも布の界面活性剤残留量は、浴比1:30く1:20であった。③洗濯後の布の界面活性剤残留量のバラツキは、浴比1:30く1:20であった。輸入機の場合に布の界面活性剤残留量が多いのは、すすぎ回数が1または2回で少なくのへすすぎ時間も短いことと大きな理由と考えられる。すすぎ後の液中の界面活性剤は、国産機より輸入機の方が非常に濃かったにもかかわらず布の界面活性剤残留量がそれ程多くなかったのは、シャワーリンスの効果と考えられる。